

ふれあいだより



鳥取大学附属特別支援学校 H23. 7. 22

学校と懇話会の二人三脚で子どもを育てよう

副校長 竹信 純一

今年は例年より早く梅雨明け宣言となり、厳しい暑さがやってきました。6月22日に鳥取県でも熱中症注意報が発令され、継続中です。本校でも児童生徒が安心・安全な学校生活を送れるよう細心の注意を心がけながら学習に取り組んでいるところです。

さて、6月2日～22日までの1回目の教育実習が終わると、その後、高等部（専攻科・本科）の現場実習、中学部3年生修学旅行、校内外の宿泊学習や校外学習、職場見学・体験、附属小学校や県立白兎養護学校との交流学习など、息をつく間もないくらい学校行事が続いています。一方では、懇話会活動として「ざっくばらんに語る会」「進路研修会」「ソフトバレー大会」などの行事も行われました。また、教職員では、12月の公開研究会に向けた取り組みとして、寺川教授による「自分づくり」や渡部教授による「新学習指導要領とキャリア教育」の研修会を行い、教員の専門性向上にも取り組んできました。

このように子どもたちを中心に据えながら学校でも意図的、計画的に活動を行うとともに、懇話会においても様々な子どものための体験活動や保護者の学びの場が提供されています。生徒が卒業した先輩から社会生活や働く喜び・苦勞などを聞く機会や、先輩保護者からお話を聞く機会も持たれています。

子どもに「生きる力」を育んでいく上で学校は大きな役割を担っていますが、学校だけでは不可能なことです。お互いに家庭の役割、学校の役割があり、連携をとりながらそれぞれの場でどんな活動を取り入れていくのかを一つずつ吟味しながら進めていくことが大切です。社会の動きを察知しながら子ども達にとって必要な学習は何なのかを検討していくと同時に、保護者の方々にも社会自立・社会参加に向けて必要なことは何なのかという視点から、保護者としてどんなことをしていけばよいのかについて考えていただきながら、共に取り組んでいきたいと思っています。



～明日から夏休み～

明日からいよいよ夏休みが始まります。4月に入学・進学してから約4ヶ月が経ち、一人一人の児童生徒が、様々な経験を通してまた一回り大きく成長しているように思います。明日からの夏休みは家庭・地域を中心に過ごします。この期間は学校での生活とはまた違い、夏休みならではの体験をしたり、地域に出かけたりするいい機会でもあります。日々の生活リズムを大切に、安全に気をつけて、有意義な夏休みになることを願っています。

～お知らせ～

7月23日（土）～8月28日（日）（夏季休業日）

7月30日（土）（出校日：高等部専攻科）

（同窓会）13：30～

（納涼祭）17：00～

8月9日（火）（出校日：小学部・中学部・高等部本科）

8月29日（月）11：30下校（給食なし）

修学旅行に行ってきました！（中学部）

中学部主事 西尾 敏枝

中学部3年生は6月29日～7月1日、大阪方面へ修学旅行に出かけました。最終日は雨が降ったものの、1・2日目は気温35度を記録する猛暑の中、休憩するたびに「水分取りましょう！」の声かけをしながらも、生徒たちは元気いっぱい修学旅行を楽しむことができました。

中学部の修学旅行では、公共交通機関や宿泊施設の利用・予約の仕方・お金の使い方について考えたり、持ち物の管理をしたり、集団行動を取りながら友達と協力し合ったり、楽しい思い出をつくったりすること等をねらいとしています。事前学習でも様々な学習を積み上げ、その学習がぎっしりとつまった一人一人違うしおりで行動を確認しながら3日間を過ごしました。



修学旅行中は何度も電車に乗りますが、その度に自分で料金表を確かめ、お金を準備して切符を買いました。買う度に手際がよくなり、正確にお金を準備している生徒たちは少しずつ自信がついているようでした。

また、集団行動だからこそ自然と身についていくこともあります。腕時計を見て時間を確認しながら、友達に「そろそろ〇〇の時間だよ。」と声をかけたり、船の中で生徒たちが考え出した遊びを誘い合って全員でしたりする姿に中3の生徒たちの優しさや関わりの深さを感じたりもしました。



こんなこともありました。生徒たちは、決められたお小遣いで誰に何をおみやげとして購入するか、あらかじめ計画を立てていました。ユニバーサルスタジオで、最後にお土産を一人一人が購入しましたが、だれもが、「これは〇〇さんへのお土産！」と言いながら時間をかけてじっくりと品物を選んでいました。相手の趣味や好みを思い浮かべながら、あれ

これと迷っていたようでした。この思いのこもったお土産を、修学旅行から帰った時に家族や知り合いの方々へどんな風に手渡すのか想像したりもしました。

保護者への感謝や仲間とすごしたすばらしい思い出のつまった修学旅行を経て、また一段と中学部の最高学年として成長していく3年生一人一人を、これからも見守っていきたいと思います。

また行けるといいね！（高等部）

高等部主事 加賀田 保憲

東日本大震災により、予定していた東京方面への旅行を大阪方面に変更することになりました。ガイドブックを片手にクラスで行き先を話し合い、USJ、海遊館、大阪市立科学館、京橋花月、天王寺動物園、大阪城等に行くことに決めました。高校生らしい活動はやはり2日目の班別行動。地図を見たり、人に尋ねたりしながら目的地までたどり着く活動です。事前学習で鳥取の街にある彫像探しオリエンテーリングを実施したとはいえ、初めて歩く大阪の街。生徒たちは無事たどり着けるのだろうか心配しましたが、心配ご無用。チームワーク良く行動し、上手に交通機関も利用して目的を果たすことができました。互いに頼ったり、頼られたりしながら行動する姿を大変微笑ましく思いました。自分たちで決めた見学先の内容にも満足した様子で、生徒から「また、来たい。」という声が聞かれました。



6月下旬から2週間、3年生は現場実習を行いました。修学旅行で高まった自信を胸に精一杯働き、有意義な実習となりました。修学旅行で培った集団行動やマナーが実習の場にも生きていました。行事を積み重ねるごとに成長していく生徒たちをとっても頼もしく思っています。働く力をつけ、自分自身で進路を選択・決定し、卒業後の豊かな暮らしを築いてほしいと願います。そして「また、行きたい」と思う場所に、自分自身あるいは仲間と一緒に計画を立て、行けるといいですね。楽しみや夢をもって、これからも様々な体験をしていきましょう。

